

災害出動報告書

令和3年7月14日

以下のとおり災害出動の報告を致します。

報告者：事務局 山田協

災害出動	熱海土石流災害			
日時	7月9日（金） 午前5時30分～午後4時30分			
天気	曇り空 雨予想ナシ			
場所	静岡県熱海市伊豆山地区 右側谷筋エリア			
災害現場概況	災害発生から5日経過。 朝、小さな土石流もあり、また土石の撤去が難航している。			
出動者名	担当	氏名	犬名	犬種・性別
	サポート役	西原幹夫		
	サポート役	長谷川亜蘭		
	サポート役	山田 協		
	指導手	川合一夫	ディルク	GS ♂
	指導手	河島大四	ココ	ボーダーコリー♀
	指導手	石田昌二	ぶん太	RL ♂
	記録・カメラ	西原幹夫		
		山田協		
搜索状況	<p>7月9日 am5:30 ホテルニューアカオ駐車場 集合・待機 点呼 全13名 / 他団体1(5名) 日本救助犬協会(6名) 他団体2(1名) 他団体3(1名) 2班に分かれ上流と下流で搜索 : 東京消防庁班 / 横浜消防局班</p> <p>am7:30 和田川沿い市道の住宅駐車場に駐車(3台)</p> <p>am8:00 横浜消防指令の下、対策本部にて状況説明を受け、現場を俯瞰できる場所へ移動、搜索エリアの確認 搜索場所は土石流がおよそ2メートル溜まっており、水分を含んでおり、ぬかるみ状態。 自衛隊の重機も入れず、土砂のかきだし難航。また小さな土砂崩れあり、待機指示。</p> <p>am10:30 作業開始 ぬかるみの上の流出板を渡り、流出家屋へ向かう。 ディルクが流出家屋の壁際でたか鼻を使い、拘っていた。 ディーゼル(他団体)が確認に入り、家屋の向こう側から侵入 ココは流出家屋材の隙間各所へ鼻を入れ、しきりに臭いを取っている。通路側から流出家屋2メートルほど段差をおり、進入 ぶん太はハンドラーの指示で家屋進入後、一階へ降り搜索。</p>			

搜索は各犬 15分から 20分の搜索時間であった。搜索状況を救助隊へ報告。

休憩後は、コンパネでアクセスを作り、およそ50メートル先の流出家屋2階窓より進入予定。待機。

pm 1:00 自衛隊の泥かきだし作業、コンパネ敷設待ちで待機

泥のかきだしはほとんど人海作戦の為、搜索時間が無くなる。

pm 4:00 本日の搜索作業は時間切れのため、撤退となる。

